

2023年2月のガス料金について

2022年12月29日

蒲原ガス株式会社

当社は、2023年2月検針分に適用する従量料金単価を、1m³あたり下表のとおり調整いたします（詳細は別紙参照）。

今回のガス料金の調整は、2022年9月～2022年11月のLNG（液化天然ガス）平均価格（貿易統計値）により算定された平均原料価格に基づくものです。

また、電気・ガス価格激変緩和対策事業（※）の政府支援を踏まえ、原料費調整後の単価から1m³あたり30円（税込）の値引きを行います。

※詳細は資源エネルギー庁の「電気・ガス価格激変緩和対策事業特設サイト」をご覧ください。
(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/>)

2023年1月検針分からの調整額 （値引き反映前）	2023年1月検針分との差額 （値引き反映後）
△0.61円/m ³ （税込）	△30.61円/m ³ （税込）

月間のガスご使用量が47m³の標準的なご家庭では、2023年1月適用料金と比べて、1か月あたり1,439円（税込）の引き下げとなります。

なお、2023年2月検針分に適用する料金につきましては、当社の本社店頭での掲示や、検針時に各戸にお届けする「ガスご使用量等のお知らせ」等で、あらかじめお知らせいたします。

以上

〈お問い合わせ先〉

蒲原ガス株式会社

総務部 総務課 担当 小杉

TEL 0256-72-3337

<別紙>

料金表（2023年2月）

●一般ガス供給約款料金

（各月のご使用量に応じてA・B・Cいずれかの料金表が適用されます）

2023年1月に適用される従量料金単価と比較した場合、1m³あたり30.61円（税込）の引き下げとなります。

なお、従量料金単価には、電気・ガス価格激変緩和対策事業の政府支援を踏まえた1m³あたり30円（税込）の値引きが反映されております。

また、基本料金は変わりません。

（税込）

2023年1月検針分からの調整額 （値引き反映前）	2023年1月検針分との差額 （値引き反映後）	基準従量料金単価との差額 （値引き反映後）
△0.61円/m ³	△30.61円/m ³	+59.55円/m ³

【一般ガス供給約款料金表】

（税込）

	1か月のご使用量 （適用区分）	基本料金 （1か月あたり）	従量料金単価（1m ³ あたり）	
			2023年2月検針分	（基準従量料金）
料金表A	0m ³ ～25m ³	660.00円	169.41円	109.86円
料金表B	26m ³ ～250m ³	924.00円	158.85円	99.30円
料金表C	251m ³ ～	2,123.00円	154.06円	94.51円

ガス料金は、検針日の翌日から20日以内（早収料金適用期間）にお支払いいただく場合には、早収料金となります。早収料金適用期間を過ぎてお支払いいただく場合には、遅収料金（早収料金を3%割り増しした金額）となります。

【ガス料金の計算式】

早収料金 = 基本料金（税込） + 従量料金単価（税込） × ご使用量

消費税等相当額 = ガス料金 × 消費税率 ÷ （1 + 消費税率）

（上記計算の結果、1円未満の端数が生じた場合は端数を切り捨てます）

標準家庭における影響

（税込）

1か月のご使用量	2023年2月適用料金	2023年1月適用料金	増減額	増減率
47 m ³	8,389円/月	9,828円/月	△1,439円/月	△14.64%

※標準家庭のガスご使用量は、当社におけるご家庭1件・1ヵ月あたり平均（2016年～2020年度の5年間平均）に基づいております。

平均原料価格と調整単位料金の算定について

	2022年9月～ 11月原料価格	2022年8月～ 10月原料価格	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	152,010 円/t	152,790 円/t	37,960 円/t
平均原料価格	155,080 円/t	155,880 円/t	38,730 円/t

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均価格 (2022年9月～2022年11月貿易統計値)} \times 1.0202 \\
 &= 152,010 \text{円/t} \times 1.0202 \\
 &= 155,080.602 \text{円/t} \\
 &\quad \downarrow \text{(10円未満四捨五入)} \\
 &= 155,080 \text{円/t}
 \end{aligned}$$

■ 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\
 &= 155,080 \text{円/t} - 38,730 \text{円/t} \\
 &= 116,350 \text{円/t} \\
 &\quad \downarrow \text{(100円未満切り捨て)} \\
 &= 116,300 \text{円/t}
 \end{aligned}$$

■ 調整額 (1m³あたり) の算定 (平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき)

$$\begin{aligned}
 \text{調整額 (値引き反映前)} &= \text{原料価格変動額} / 100 \text{円} \times 0.070 \text{円} \times (1 + \text{消費税率}) \\
 &= 116,300 \text{円} / 100 \text{円} \times 0.070 \text{円} \times 1.10 \\
 &= 89.551 \text{円} \\
 &\quad \downarrow \text{(小数点第3位以下の端数切り捨て)} \\
 &= 89.55 \text{円/m}^3
 \end{aligned}$$

※ 原料価格変動額100円につき従量料金単価を1m³あたり0.077円 (0.070円に1.10 (1+消費税率) を乗じた値) 調整します。

$$\begin{aligned}
 \text{政府支援を踏まえた調整額} &= 89.55 \text{円/m}^3 - 30.00 \text{円/m}^3 \\
 &= 59.55 \text{円/m}^3
 \end{aligned}$$

上記計算の結果、

- 基準従量料金単価に対し、1m³あたり+59.55円 (税込) 調整します。
- 2023年1月に適用される従量料金単価と比較した場合、1m³あたり30.61円 (税込) の引き下げとなります。